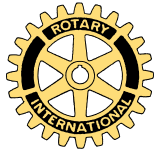


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードン R. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 英樹
幹事 石川 泰隆
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3241回例会プログラム

[当年度=39回目；当月=4週目]

2024年（令和6年）6月24日(月)

於：ホテルクラウンパレス知立

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 17:30 1. 点鐘……〈会長〉
2. 開会宣言
3. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
4. 会長挨拶並びに会長報告
5. 青少年交換学生挨拶
……エマ・レヒティマキさん
6. 退会会員挨拶……水越 彌生 会員
橋 典子 会員
7. 幹事報告
8. バッジ交換……〈新旧会長・幹事〉
9. 出席報告
10. 委員会報告（クラブ会報・IT委員会）
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
（7/1）……クラブ協議会
各理事挨拶
（7/8）……クラブ協議会
各委員長事業計画発表
13. 点鐘……〈会長〉
14. 閉会宣言

2. 夕食例会……………〈親睦活動委員会〉

- 18:00 1. 開会の言葉……〈司会〉
2. 挨拶……〈副会長〉
3. 乾杯……〈直前会長〉
4. 食事・歓談
5. アトラクション
6. 「手に手つないで」
7. 閉会挨拶……〈クラブ奉仕委員長〉
8. 閉会の言葉……〈司会〉

19:30 散会

出席

会員総数 97名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 1名 出席率 98.84%
前々回（6/10）の修正出席率 100%

ゲスト



青少年交換学生 エマ・レヒティマキさん

退会会員



水越 彌生 会員

橋 典子 会員

新旧会長・幹事



幹事報告

1) 二村会員と前田春実会員が退会されましたので、会員数を97名に訂正致します。

委員会報告

●クラブ会報・IT委員会

1年間の活動をアルバムにまとめさせて頂きました。加藤会長、1年間お疲れ様でした。



アルバム贈呈

会長あいさつ

加藤 英樹



本日は2023-24年度刈谷ロータリークラブの最後の例会です。

先週は、会長挨拶で1年の事業を振り返らせて頂きました。本当に会員の皆様には感謝しかありません。ありがとうございました。

こうやって挨拶していると、会員の皆さんの雰囲気を、空気を通して感じます。「英樹ちゃん。大丈夫かな…。」そんな空気を感ずることが多くありました。そう、僕はどちらかと言うと「ちゃん。」が似合うタイプようです。地区でもそんな感じでした。本当に温かいみなさんに囲まれて幸せです。

さて、今年度のスローガンは「刈谷ロータリークラブの歴史と伝統に磨きをかけよう！」でした。他クラブの会長とお話するとグローバル補助金を利用した事業など他クラブにはできない規模の事業をするなど、さすが刈谷ロータリークラブだと皆さん一様にお話頂きました。

刈谷ロータリーの力は未だに衰えることなく、2760地区にその存在感は増していると感じました。

パストガバナーの方々にもさすが刈谷ロータリーだと認識頂きました。

これは地区に出向頂いている野村重彦会員を始め、社会奉仕委員会の副委員長の出口達也会員、職業奉仕委員会の杉浦文雄会員、国際奉仕委員会の寺田博正会員、資金推進委員会の委員長の佐野彰彦会員。佐野会員にはなかなか募集が進まないポールハリス並びにポリオプラスソサエティの募集もしっかりやって頂きました。お疲れ様でした。そして、補助金委員会の山下雅則会員、米

山記念奨学委員会の池田直樹会員。それぞれの出向者の方々が、地区で責任を持って、しっかりと活動して頂いたからだと思っています。お疲れ様でした。そして、刈谷の評価を上げて頂き、ありがとうございました。

ただ、ガバナー特別賞などを獲得するにはクラブセントラルの利用をもう少し上げていかないといけないようです。年々増えているので近々到達できると思いますが…。

加えて、刈谷RCが特別である一番の源、それは、会員数を維持していることです。コロナ禍にあって他のロータリーは例会を中止していました。そのため会員数を大きく減らしていました。やはり会員同士が集う例会が開催されなければ交流もなく親睦も生まれません。

歴代会長の杉浦会長、神野会長、野村会長、小川会長がいろいろと考え、決断して、工夫して例会を開催し続けてくれたことが会員数の維持につながり、今の刈谷ロータリーの力の源になっていると思います。本当にありがたいと思いました。

その例会を開催するのに要となる委員会が、会場と親睦委員会です。杉浦守康委員長と新美大輔委員長には、委員会をしっかりと取りまとめて頂き、仲の良い団結力ある素晴らしい委員会を作って頂きました。ありがとうございました。

もう1つ例会を運営する上で大切な委員会が中川耕児委員長が率いるプログラム委員会です。お仕事柄もありますが、お名前通りの「麴菌」の卓話を何度か入れて頂き、年度の頭には全ての日程を入れて頂きました。その段取りの良さは素晴らしかったと思います。ありがとうございました。

その他にも、ミササガパークのベンチの設置では、社会奉仕委員長の兵藤文男会員に、タイのグローバル補助金の事業では、国際奉仕委員長の久米博明会員と小川耕示直前会長にお世話になりました。ありがとうございました。

さて、この1年多くの会員の方々にお世話になりましたが、特ににお世話になったのは、石川幹事と事務局の倉内智子さんです。本当にありがとうございました。

石川幹事におかれましては、何とか1年間大きなケガもなく終わることができました。これからは、好きなゴルフと映画、それから大好きなPerfumeの追っかけにまい進してくださいね。そういえば早速タイで開催されるPerfumeコンサートに行くらしいですね。切り替えの早い石川幹事らしいと思いました。ゴルフも自称「チーングル」から早く本当の「シングル」に戻ってくださいね。

そして、倉内さん。ロータリーに入会して以来ずっとお世話になりっぱなしですね。公私ともに忙しい中、会員のフォローまでありがとうございます。これからもお世話になりますが、よろしく願い申し上げます。

そして最後に、来年度の内藤会長の足を引っ張らないように、来年度もしっかりと活動していきたいと思えます。これからもよろしく願い申し上げます。

これで会長挨拶は終了です。

1年間、本当にありがとうございました。

懇親会風景

